

06 財政指標から見た財政状況

評価 → ◎ 良い / ○ 普通 / △ 良くない

※赤字額、資金不足額がないため、実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は「－」と表示しています。

※平均については、財政力指数、平成29年度県内平均の実質公債費比率及び将来負担比率は単純平均、それ以外は加重平均です。

※平成29年度の県内平均及び全国平均については、速報値です。

※6月、12月に川西町 HP にて財政状況を公表しています。

▼財政力指数（高いほうがいい）

	評価	川西町	県内平均	全国平均
H29	○	0.48%	0.41%	0.51%
H28	○	0.48%	0.40%	0.50%

標準的な行政を行う経費のうち、どの程度、町税等の標準的な自前の収入でまかなえるかを示したものの、1に近い、あるいは1を超えるほど財源に余裕があるといえます。

▼経常収支比率（低いほうがいい）

	評価	川西町	県内平均	全国平均
H29	○	87.5%	94.6%	92.8%
H28	○	88.4%	97.4%	92.5%

町税や普通交付税等の毎年常に入ってくる比較的自由に使える収入に対し、人件費、扶助費、公債費等の毎年必ず支払わなければならない固定的な経費がどの程度充てられたかを示したものの、この比率が小さいほど独自の施策に使える財源が大きいといえます。

▼資金不足比率（低いほうがいい）

公営企業ごとの資金不足額が、事業規模である料金収入に対してどのくらいあるかを示したものです。〔経営健全化基準20%〕

- ①水道事業会計
- ②公共下水道事業特別会計

	評価	川西町①	評価	川西町②
H29	◎	—	◎	—
H28	◎	—	◎	6.4%

▼健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政上の指標です。これによって、財政の早期健全化（イエローカード）や再生（レッドカード）の必要性が判断されます。

＞実質赤字比率〔早期健全化基準15%、財政再生基準20%〕

	評価	川西町	県内平均	全国平均
H29	◎	—	—	—
H28	◎	—	—	—

一般会計等を対象とした実質赤字額が、標準財政規模（税・交付税等、町が自由に使えるお金の大きさを表したもの）に占める割合。

＞連結実質赤字比率〔早期健全化基準20%、財政再生基準30%〕

	評価	川西町	県内平均	全国平均
H29	◎	—	—	—
H28	◎	—	—	—

公営企業を含む全会計を対象とした実質赤字額（または資金不足額）が標準財政規模に占める割合。

＞実質公債比率〔早期健全化基準25%、財政再生基準35%〕（低いほうがいい）

	評価	川西町	県内平均	全国平均
H29	○	7.0%	10.0%	6.4%
H28	○	4.2%	10.2%	6.9%

一般会計等が負担する公債費等（公営企業や一部事務組合等の地方債の償還のうち一般会計等が負担する分も含む）が、標準財政規模に占める割合。実質的な借金返済負担の重さを表す指標です。18%を超えると地方債を発行する際に県の許可が必要となります。

＞将来負担比率〔早期健全化基準350%〕（低いほうがいい）

	評価	川西町	県内平均	全国平均
H29	◎	—	77.8%	33.7%
H28	◎	—	78.3%	34.5%

一般会計等が将来負担すべき負債（公営企業や一部事務組合等の分を含む）が、標準財政規模の何倍あるかを示したものです。この比率が高いと、将来的に財政が圧迫される可能性が高くなります。

現状と今後

川西町の平成29年度普通会計決算から見る財政状況は、経常収支比率、財政力指数、実質公債費比率とそれぞれ良好な数値にあり、現段階については健全な状況であるといえます。

歳入面では、法人住民税や地方交付税等の増加もあり前年度を上回りました。また、町人口が年々減少していることから、今後個人住民税は減少していくと考えられます。歳出面では、都市計画事業として駅周辺事業の開始。公園施設長寿命化計画に基づいて、公園遊具の入替えや修理を実施しました。公共施設の整備としては、文化会館の空調改修や文化会館前の街路灯設置。耐震対策として、中央体育館のアリーナ天井照明を改修しました。また、道路環境整備事業では、橋梁長寿命化対策の一環として橋梁の点検や補修工事を行い、道路新設改良事業では基本設計を実施しました。

平成30年度にも、幼稚園・小学校の空調設置工事や橋梁・道路の修繕、各福祉事業等の川西町の活性化につながる事業を実施していきます。また、今後も工業ゾーン創出プロジェクトや駅周辺整備等の多大な費用を要する事業が継続されていくため、現在の財政状況に満足することなく、引き続き、行財政の健全化と効率化に取り組んでいく必要があると考えています。